

防犯活動日記

(11/6 西部地域振興センター)

今回は飯能市の前原ボランティアパトロール隊の活動取材しました。



■活動のきっかけを教えてください。

平成17年に埼玉県で「わがまち防犯隊」の登録が始まった頃に飯能市から依頼が来てパトロールを行うようになりました。

■活動内容を教えてください。

小学校下校時の毎日の見守り活動、元加治駅のパトロール、夜間のパトロールです。夜間のパトロールは週に1回行っています。拍子木を叩きながら、誘導棒を点滅させて歩きます。防犯灯のチェックも年に4回行っています。

■パトロールの際、注意していることは？

声かけを必ずするように心がけています。子供達に「おかえり、さよなら」としっかり声かけをします。

■やっていてよかったと思うことは何ですか？

子供達が慕ってくれたり、親しくしてくれることにやりがいを感じます。子供達と接することが活動の励みになっています。



■苦勞されていることはありますか？

苦勞とは思いませんが、課題はあります。それは、メンバーを見つけることです。途切れないように協力してくれる人を見つけていかななくてはならないので、時間のある時だけでいいから、少していいからとお願いしています。孫が小学校を卒業すると辞める人もいますが、そういう人にはあと1年でいいからと協力をお願いしています。しかし、活動当初から頑張っている人もいますので、大変ありがたい事と思っています。

前原ボランティアパトロール隊の皆さん、パトロールに参加させていただきありがとうございました。

毎日の活動を続けていくことは大変なことですが、皆さんの活動のおかげで子供達、そしてここに住む人々が安心して暮らせる町になっていると思います。これからも引き続きよろしくお願いいたします。